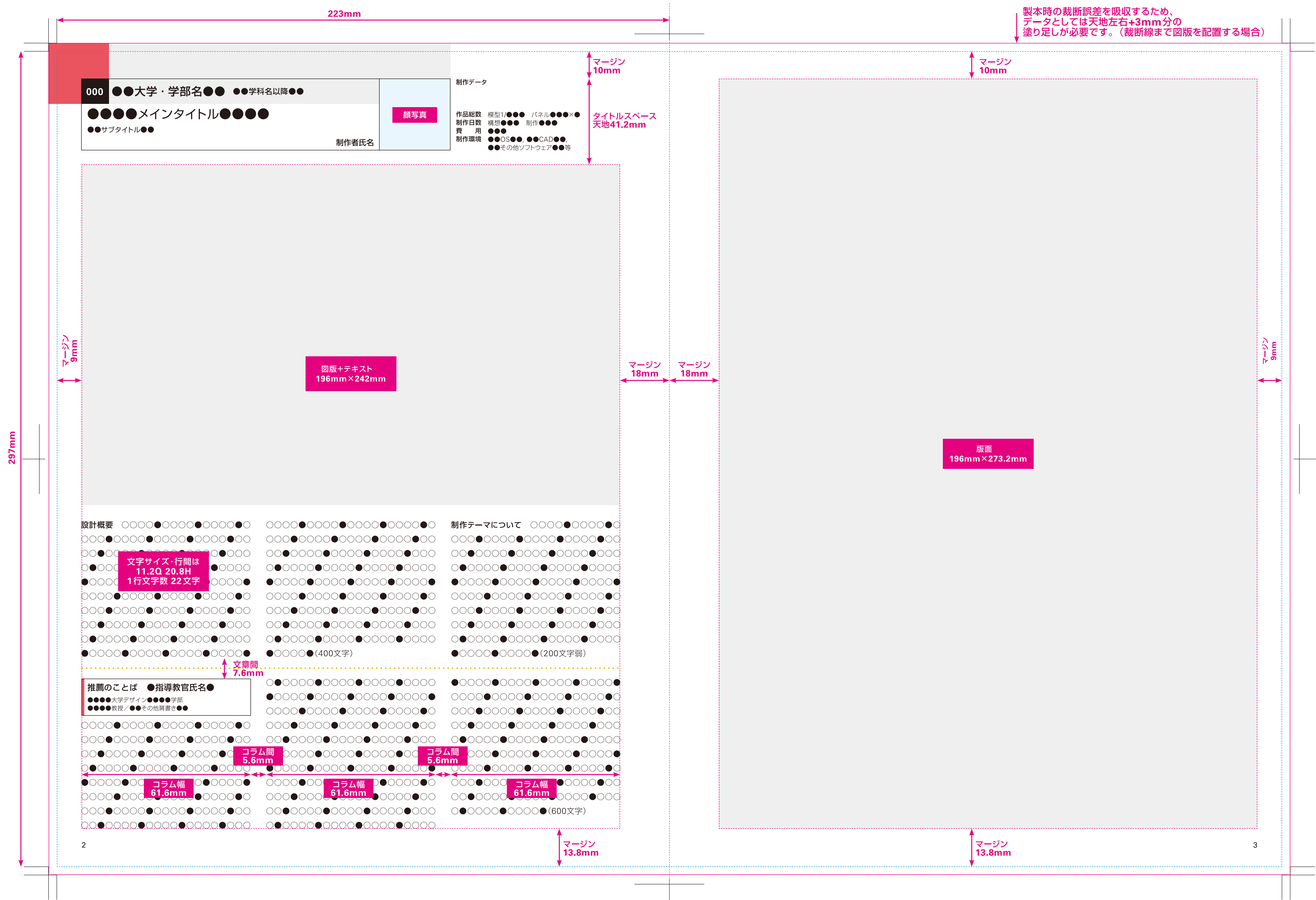


■レイアウトについて

※実際の掲載時はタイトル周りなど多少のレイアウト変更がある場合がございますが、基本的な寸法は以下のとおりです。
詳細は近代建築社ホームページをご覧ください。

判型（ページサイズ）はA4ワイド判になります。（W.223mm×H.297mm） ※A4正寸はW.210mm×H.297mm

- ・原稿のコラムは3段組というタイプです。1ページに3コラムで文章が流し込まれます。最終的な文章レイアウトは当社にて行いますので、フォントの違い、多少のズレは構いません。また、文章量により、レイアウトを変更することもございます。
- ・顔写真はカラーにて掲載。
- ・左ページのレイアウトは図版と文章量の関係で、適宜調整してください。
- ・レイアウト作業をする際は、なんとなく目分量で配置するのではなく、下記の誌面設計を考慮の上、図版プロポーションを数値で調整するのも大切です。作業の際は、天地と左右の倍率が変わってしまわないよう、注意してください。



■裁ち落とさない場合■

内側破線内にレイアウトを収めてください。

■裁ち落とす場合■

内側破線をはみ出してレイアウトする場合、仕上がりは外側破線（仕上がりライン）となりますが、データは外側実線のところまで必要です。

綴じ代部分（マージン18mmの部分）およびに外側破線に近い部分は裁断誤差により文字や図版が切れたり、切れなくても大変読みづらくなります。
図版の切りたくない部分や、文字要素は外側破線より5mm以上、内側に配置するよう注意が必要です。
特に図面で敷地内部に当たる部分は注意が必要です。